

05 生き生き感性アート — 臨床美術入門講座(2025後期)—

申込締切

9/18
木

講師 保坂 遊 (子ども支援学部教授)

講座日時 金曜日(全3回) 10:30~12:00 [90分]

定員 各日30名

受講料 <<一般>>6,000円 <<本学学生>>3,000円

持ち物 汚れても良い服装、作品を持ち帰る袋

※本講座は1回ずつの受講が可能です。申込の際、希望日を明記ください。希望日の記載がない場合は全3回の申込といたします。受講料は1回につき《一般》2,000円《本学学生》1,000円となります。



開催日

- 10月3日(金) **木漏れ日ボトル**
シンメトリーのボトルの形を、透明素材に描くことでボトルの透明感が表現できる事を体感します。
- 11月28日(金) **柿の量感画**
柿の手触りや重さ、質感を実感しながら、異なる素材を重ねていくことで生まれる表情を楽しみます。
- 12月12日(金) **クリスマスプレート**
クリスマスの賑やかで楽しい気持ちをイメージし、白い皿にステンシルとスクラッチを組み合わせて、アナログ表現を楽しみます。

講師プロフィール

東京家政大学子ども支援学部長 子ども支援学科教授 臨床美術士1級 彫刻家 臨床美術学会/日本臨床美術協会副会長

大学で彫刻を学び、大学院では社会福祉学を学ぶ。幼児の造形表現教育に携わりながら、臨床美術の普及のため、沖縄県、宮城県での活動を経て、2014年より本学子ども学部に着任。科研費「多職種協働による芸術保育を主軸とした日常保育実践モデルの開発」、「発達支援プログラムとしての美術表現活動の確立へ向けた脳内ネットワークの解析」等の研究を推進し、美術が教育・福祉・医療に果たせる役割をテーマとして探求している。

講座内容

「臨床美術」とは、豊かな感性と創造力を引き出す独自のアートプログラムを用いて美術創作を楽しむそのプロセスによって、認知症ケア、介護予防、また保育・教育現場、また様々な子どもへの実践へとニーズが広がっているアートセラピーです。「生き生き感性アート」も3年目を迎えることができました。毎回それぞれのテーマに沿って、五感で感じたことをユニークな手法によって制作しながら、個性溢れる美術表現の世界をみなさんと一緒に楽しみましょう。



1回目



2回目



3回目